

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームの役割をスタッフ同士で話し合い、利用者の視点に立った基本理念を策定している。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム事務所内の掲示。新規採用スタッフに対しては初期研修の中で研修担当より内容・意義を説明するとともに毎日の朝礼では唱和をおこなう。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族様には入居の相談時にお話しするとともに訪問時など折に触れてお話しするようにしている。近隣住民に対して開所前は戸別訪問による説明時にお話し、開所後は運営推進会議の中で話すようにしている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常の散歩の時などは、声をかけてもらうのを待たずに、こちらから積極的に声をかけるようにしている。季節の野菜を届けて頂く事もあり、逆に納涼祭などのイベントの時には参加をお願いしている。	○ 茶飲み友達の感覚で気軽に立ち寄ってもらえるよう更に近隣とのつながりを強くしていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	開設当初より区長を始め地域住民の理解が得られており施設（企業）としてではなく一戸の民家という感覚でお付き合いさせていただいている。自治会や地区の集まりには積極的に参加しその都度ホームの現状をお話している。	○ 老人会への参加をおこない更に交流を深めていきたい。

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実習生の受け入れをおこない人材育成をおこなっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価をスタッフと共におこなうことによりサービスの質の向上に努めている。	○	外部評価の結果を全員で話し合い、更なる質の向上に努めたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の意見交換の中で、出来ていること出来ていないことを話し合いホームの運営に役立てている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市や包括支援センター主催の研修・検討会には積極的に参加し、いつでも相談や状況の報告をおこなえる体勢にある。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ご家族様からの相談で制度の内容を紹介し利用に繋がった事例がある。各関係機関が開催する研修にも出席し内容の理解に努めている。	○	管理者が対応するためスタッフ全員が理解できていない。今後、所内研修や外部研修を通じてスタッフ全員が制度を理解できるようにしたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作成してあり新規採用職員の初期研修で周知するとともに定期的にミーティング等で所内研修をおこなっている。また、関係機関が主催する研修にも出席し所内で伝達研修をおこなっている。		

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間を掛け内容の説明をおこない、当ホームで出来ること出来ないことをはっきりお話しすると共に起こりえるリスクもご理解いただいたうえで契約を結んでいる。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	市の介護相談員を定期的に派遣してもらい利用者の要望を聞いて頂き運営の参考にしている。日常生活の中で利用者が話したことなどを記録に残しスタッフが共有できるようにしている。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月かわら版で日常生活の様子を報告するとともに、個別に電話での連絡や面会時に報告をおこなっている。金銭管理に関しては個々に出納帳をつけており毎月報告している。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や訪問時に意見を聞くようにしている。また、ご家族が話しやすい雰囲気作りに努めている。	○	全部の家族から定期的に話を聞いているわけではないので、アンケート等を活用することにより定期的に意見を聞ける機会を設けたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体会議やユニット会議の中で、ホームの方向性や問題点を話し合える機会を設けている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の生活のペースに合わせて勤務時間帯の変更をおこなっており、特変時に柔軟に対応できるよう管理者は通常のシフトには入っていない。		

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>出来る限り各ユニットのスタッフは固定できるよう心がけている。離職等でやむをえない場合は、引継ぎ・初期研修にかかる時間をできるかぎり多く取るようにしている。</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の法人内研修にスタッフの代表が出席し、伝達研修をホーム内でおこなっている。また、関係各機関が開催する研修にも積極的に参加し、全体会議等で伝達をおこなっている。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は地域包括支援センターが開催する検討会・連絡会に出席し交流の機会を設けている。また、他法人の職員外部研修の受け入れをおこない、スタッフ同士の意見交換や交流がおこなえる機会を設け質の向上に努めている。</p>	<p>○ 地域のグループホーム連絡会への参加をしていきたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>面談時などに職員の悩みなどを把握できるよう努力しているが、業務中に気分転換できる休憩室の確保ができていない。</p>	<p>○ 職場環境を整備していく。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>資格取得に対する支援制度があり、取得後は待遇に反映されるようになっている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面談時にご本人の生活歴から現在に至るまでのことをできるかぎり把握するように努めている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面談は複数回おこなうようにし、ご家族の要望を聴く機会を多く取っている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時には入居を前提として話を進めるのではなく、他のサービスを利用しながら自宅での生活を継続できる可能性も話し合っている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族・ご本人にホームを見学していただき、場合によっては日中ホームで過ごしてもらい馴染めるようにしている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「～をするから～をしてください」という一方的な援助ではなく、「～するにはどうする？」というように一緒に考えていけるようにしている。	

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホームのかわら版や面会時の面談等で入居者の様子を細かく伝えるとともに、入居前の相談時にはホームの役割・ご家族様の役割などをお話するようにしている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ホームのかわら版や面会時の面談等で入居者の様子を細かく伝えるとともに、面会時にはお互いの関係やプライバシーに配慮しながらその時の状況に応じてスタッフが会話に加わったりしている。	○	ご家族様が定期的に参加できる行事を企画していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	毎月数回入院中の奥様のお見舞いに出かけたり昔からの友達に手紙を出したりしている入居者があり本人の意向が継続できるよう支援している。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者の人間関係を申し送り等でスタッフ全員が把握できるように日々の役割分担等に活用できるようにしている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	在宅復帰した入居者の担当ケアマネージャーには、折に触れ自宅での様子を聞くようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で入居者が何気なく発した言葉から真意をくみとる努力をしている。また、その内容に関しては折に触れご家族様には伝えるようにしている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居が決定した時点でご家族様に理解を頂いた上でお話を聞くようにしている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者毎の生活のリズムを理解できるようにし、本人の全体像を把握できるよう努力している。	○ 一部の入居者にしかセンター方式の24時間シートの活用が出来ていないので入居者全員に出来るようにしていく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族には日頃のかかわりの中で意向を聴けるようにし定期カンファレンスの中で話し合いをおこなっている。また、一時帰宅時には入居前のサービスがスムーズに利用できるよう居宅介護支援事業所とも連携を取っている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にモニタリングをおこなうとともに、定期的ではなくても身体状況に変化があった場合には見直しをおこなっている。	

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケース記録を作成し身体状況や日常の様子を記録しスタッフ全員が共有できるようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の受診・通院の援助は当然のこと個別の求めに応じて買い物の支援や図書館への外出支援をおこなっている。	○	今後は地域住民とのかかわりを深める意味でも、通所サービスや短期宿泊のサービスを検討していきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議等を通じて児童民生委員や地区住民などと意見交換できる場を設けている。また、近隣の児童施設との交流やボランティアへの協力を要請している。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居前の担当介護支援専門員とは事業者間の連絡会等でご本人の現状を報告したりアドバイスをもったりしている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議や市内の連絡会等で情報の交換が出来る機会は確保している。		

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者の元々の主治医は特別な場合を除いて変更せず、ご本人の顔なじみの医師に医療サービスを継続しておこなっていただいている。緊急受診はもちろんのこと定期受診もホーム側で通院の支援をおこなっている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ご家族様と密に連絡を取り合い一時的な入院を含め受診をおこない適切な診断・治療方針が明確になるよう支援している。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	入居前の担当介護支援専門員の中にはベース資格が看護師の方も多く、健康管理に関する相談等をおこなっている。	○	看護職員を配置し、入居者の持病・既往歴・日常の様子などをよく把握した上で医学的な見地からの支援もできるようにしたい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には病院側でスムーズに日常生活の支援が出来るようケアサマリーを担当看護師に渡している。また、洗濯物の交換等は基本的にホームでおこなうようにし頻繁にご本人に会えるようにし出来ない場所に対する不安を少しでも軽減できるようにするとともに、看護師とも連携を取れるようにしている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・ターミナルには対応していない。入居前の相談時にはホームとして出来る事と出来ない事を示しご家族様にはご理解をいただいている。	○	今後はターミナルケアもおこなっていききたいと考えている。早急にはっきりとした指針を打ち出したい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化・ターミナルには対応していない。入居前の相談時にはホームとして出来る事と出来ない事を示しご家族様にはご理解をいただいている。	○	今後はターミナルケアもおこなっていききたいと考えている。早急にはっきりとした指針を打ち出したい。

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居前に、自宅での生活のリズムや環境を把握するため担当していた介護支援専門員より情報提供書や介護計画書を頂いている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護に関することや記録に関することをマニュアル化しスタッフ全員が共有できるようにするとともに所内研修をおこなっている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	主役は入居者様でありホームの都合を押し付けないようにということは全体会議の中で話し合う機会を設けている。	○	選択食を検討中
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	主役は入居者様でありホームの都合を押し付けないようにしている。日課も決めてはあるがあくまでも予定であり入居者様のペースにより柔軟に変更している。	○	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容・美容は訪問でやってもらっているが、希望のある入居者には理美容院へスタッフが付き添っている。		

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様個々の力に応じてだが、買い物や外出の時には預り金の中から小額のお金をご本人に持ってもらえるようにしている。</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物や天候に応じての散歩は日常におこなっている。また、弁当持参での花見や紅葉狩りといった季節ごとの外出もおこなっている。</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>日常の会話の中から出てきた希望や想いは折に触れご家族様にお話するようにしている。</p>		
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>ご家族様に了承いただいた上で、ご本人からの求めがあれば電話の使用は制限していない。手紙も遠くの親戚や友人とやりとりをおこなっている入居者様も居る。</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>面会時間は特に定めていない。ご家族様やお友達の都合の良い時間に来所していただけるようにしている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束抑止に関するマニュアルを作成しスタッフ間で共有している。また、所内研修の実施や外部研修に積極的に出席し伝達研修をおこなうことにより知識の向上に努めている。</p>		

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	避難訓練は年2回おこなっていく。

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	リスクに関しては入居される前からご家族様には説明をおこない入居後も入居者の状態に変化があるごとにご家族様と話し合う機会を設けている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルサインチェックはもちろんのこと、体調の変化を早い段階で察知できるよう努力している。特変があればリーダー・管理者に報告をおこない受診等の支援を行っている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者個々の薬科情報をスタッフ全員が把握できるようにしている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食材や補水を考慮するとともに日常の散歩やアクティビティーの中で身体を動かし便秘の予防に努めている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアは毎食後全員に対しておこなっている。入居者個々の能力を勘案し磨き残しの無いようにスタッフが支援している。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	他事業所の献立を参考にしながらバランスの良い食事を提供できるようにしている。	○	スタッフに栄養士がいるので、今後は専門性を生かし献立造りをおこなっていきたい。

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症予防マニュアルを作成しており、所内研修を通じスタッフ全員が共有できるようにしている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は毎日入居者様と買い物に行き買い置きをしないようにしている。また、まな板やふきん等の調理用具は毎晩殺菌をおこない衛生管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホームの畑の入り口側に花を植えるようにし雰囲気作りに努めている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの飾りは季節ごとに入居者様と一緒に作り季節感を味わえるようにしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関にベンチを置き独りになれるスペースを確保している。また、畳のスペースもあり気のあった入居者同士で雑談したり横になって休んだりしている。		

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室を使用する上での制限は設けていない。入居 時にはご本人の使い慣れた寝具やタンスを居室に 用意していただいている。</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている</p>	<p>換気扇は常時稼働させている。トイレも日に複数 回掃除をおこない悪臭の発生をおさえている。</p>		
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している</p>	<p>手すりの設置など、ご本人の身体機能にあわせた 室内環境作りに努めている。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している</p>	<p>各居室にご本人の表札をつけたり浴室の入り口に 暖簾をつけ混乱が生じないようにしている。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている</p>	<p>庭にある畑を活用し、入居者様が日常的に楽し みながら活動できるようにしている。</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない 入居者との日常のかかわりの中で多く話を聴くことにより意向や願いを把握している。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない 日中ホールで雑談をしたり一緒に作業をおこなっている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんどいない タイムスケジュールはあるが強制はしていない。利用者は自分のペースで生活している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんどいない 畑や家事など日常生活の中でおこなっている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんどいない 入居者の求めに応じて図書館や買い物と一緒にいたり、家族に会いに行ける支援をしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんどいない 毎日のバイタルサインの測定や表情や様子の変化に気をつけ、入居者の体調の変化を察知した場合には主治医や協力医に相談・受診をおこなっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんどいない タイムスケジュールはあるが強制はしていない。利用者は自分のペースで生活している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない 面会時にはご家族様と話ができる時間を設けている。ご家族様の要望や希望は記録や申し送りに残すことによりスタッフ間での共有をはかっている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ご家族様の面会はもちろんのこと、入居者様の昔からの近隣の友人が尋ねてくる。

ツクイ信州中野サンフラワー・千曲川ユニット

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない 会議の中でホームの現状や、出来ている事・これからおこなっていきたい事などをお話し理解を求めており、近隣の住民が見学に訪れることもある。
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない 公私の区別はしっかりつけること、自分の時間は大切にすることを折に触れ話し合うようにしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 活動の時間を入居者の現状に合わせて柔軟に変更するなどして「やらされている」という意識を持たないことにより表情が良くなる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない 毎月発行しているホームのかわら版や電話等での日常生活の報告をおこなったり、ご家族様からの相談を聞く等のやりとりの中で信頼関係が築けており、季節の野菜などの差し入れがある。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)